

～学び続ける教職員を目指して～

★3年生「学級活動」の授業より



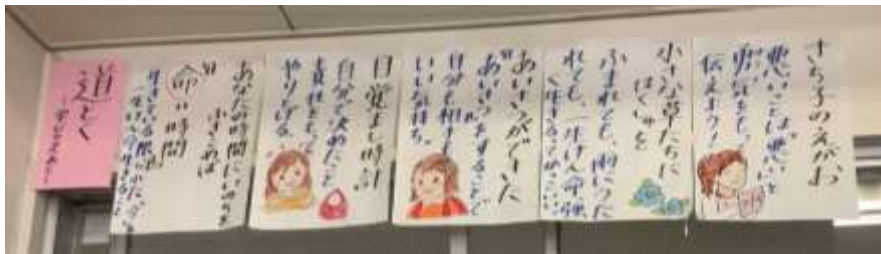
学級活動の学習では、「みんなで決めた学級目標をもとに自分ができることを考えよう」という活動を行っていました。目標の中から、「やさしい」「えがおあふれる」「あたたかい」の3つのキーワードから、できることを考え、活発に意見交流する姿が見られました。子どもたちの振り返りを聞くと、「いろんな意見が出て、クラスをよくするためにがんばろうという気持ちになった。」「1年間大切にしたい」などポジティブな意見が多数でした。



プリントをもらうときには「ありがとう」。渡すときには「どうぞ」の掛け声。「ありがとうどうぞリレー」をクラスで取り組んでいました。当たり前のごことに感謝と思いやりの気持ちをこめて行うことを大切にされているのが伝わりました。

「聴き方名人」の徹底。5時間目の終わり際、集中力が切れやすい場面でも多くの児童が発表者に体を向けて「聴く」に取り組んでいました。クラスでも普段から大切にされていることが伝わります。

★道徳科「学びの足あと」の学級掲示



4年生の学級では、道徳科で扱った教材やねらいとする道徳的価値を一枚の紙にまとめ、「学びの足あと」として学級掲示をしていました。授業で学んだことがいつでも振り返られるように視覚化されていて、とても素敵です。1授業として終わるのではなく、形に残していくことで子ども達の心を磨いていくことにつながっていくと思います。